

石川県大聖寺川ダム統合管理事務所環境行動計画

平成21年12月21日

■取組方針

石川県大聖寺川ダム統合管理事務所は、大聖寺川の洪水調節、上水道及び農業用水の確保、発電に供するため建設された我谷ダム・九谷ダム等の維持管理を行っている事務所です。

また、ダム湖周辺の公園や九谷ダムの見学会、「森と湖に親しむ旬間」行事を通して、広く県民にダムについて理解を深めていただく活動を実施しています。

こうしたことから、当管理事務所において活動を推進していくうえで、ダム管理だけでなく環境保全全般について、職員一人ひとりが強い意識を持って取り組むことは大変重要なことであると考えます。また、公的機関として、民間企業や県民に対して率先し、模範となるよう行動する使命を背負っているものと認識しております。

このため、私たちは、当管理事務所の活動が環境負荷へ及ぼす影響を少なくするため、以下の行動に取り組みます。

- ① 事業活動の中で省エネルギー化・省資源化（紙の節約）を進め、二酸化炭素の排出量を抑制します。
- ② 資源（用紙）のリサイクルを進め、有効利用を図ります。
- ③ ダムの適正な操作及び危険物等の安全管理に努めます。

この方針に基づいて、職員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成21年12月21日

石川県大聖寺川ダム統合管理事務所

所 長 橋 詰 徳 秀

当管理事務所では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。

設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

<p>目標— 1</p>	<p>二酸化炭素の排出量を、平成 19 年度（約 112,000kg- CO₂）を基準として平成 23 年度までに約 3%削減、108,960 (kg-CO₂) 以下に削減する。</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>（事務所での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 冷房温度（28 度）と暖房温度（19 度）を厳守する ② 昼休みの消灯、パソコン・コピー機の電源 OFF を徹底する ③ 人のいないエリアの消灯を徹底する ③ パソコン・コピー機の節電機能を活用する ④ 照明器具の省エネ化を進める <p>（公用車使用に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① エコドライブを徹底する ② 車両運転開始時点検を行う ③ 会議・打ち合わせなどの計画を事前に集約し、効率的な公用車の使用に努める。

<p>目標— 2</p>	<p>「一般廃棄物」の排出量を把握しつつ漸減に努めていく</p>
<p>具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 現時点から廃棄物排出量を正確に計測・記録する ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する ③ 重要な書類は直接製紙工場に持ち込み、自身で溶解する ④ 使用済みインクカートリッジはリサイクル業者に回収してもらう ⑤ 詰め替え可能な製品を優先的に購入する ⑥ 封筒、ファイル、フォルダーは繰り返し使用する ⑦ 廃棄物の分別に努め、職員に徹底させる。

目標—3	コピー用紙の使用量を、平成19～20年度の二カ年平均（56kg）を基準として平成23年度までに53kg以下に削減する。
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 作成した資料やメール等で收受した資料はパソコン画面上での確認を徹底する ② 書類・資料の電子データ化を進め、メールでのやり取りを徹底する ③ 両面印刷、両面コピーを徹底する ④ 使用済み用紙の裏面を利用する ⑤ 我谷ダム及び九谷ダムの来館者施設のトイレ内に、トイレットペーパー節約の張り紙をする ⑥ 見学会等で配布する資料作成にあたっては、参加者数を確認して、印刷は必要最低限の部数に抑制する

4 環境保全の取組

ダム管理についての事業活動と環境との関わりについて当管理事務所が実施している状況内容は以下の表のとおりです。

環境との関わり	関わりの状況・内容
① 災害防止事業	<p>ダムの最大の役目は、洪水時における流水を調節し下流域の氾濫を防ぎ市街地を守る役目があります。</p> <p>また、洪水による氾濫から住民の人命や財産を守り安全・安心に寄与しています</p>
② 河川環境事業	<p>ダムによる貯水管理は、河川環境全般からみれば環境や自然にやさしい河川管理を行っていることです。</p> <p>渇水時にダムの貯溜水を放流することにより、下流域の河川環境の維持に努めています。</p> <p>また、九谷ダムに雨水を貯留し、その貯溜水を持って九谷ダム直下で発電を行い、更に、その下流にある我谷ダムでは九谷ダムの発電後の水を受けて再度発電を行っており、環境や自然にやさしいエネルギーの供給に寄与しています。</p>
※ 啓蒙活動	<p>毎年、「森と湖に親しむ旬間」行事として全国のダムで実施されている行事に当管理事務所も参加しています。</p> <p>この行事は森林やダム、河川等の重要性について理解を深めていただくことを第一にして、住民の方々に自然に親しんでもらい、ダムが環境にやさしいダムによるクリーンエネルギーの供給にも寄与していることの理解を得ています。</p>

<p>※ 広場管理活動</p>	<p>ダム周辺には当事務所管理の広場や公園があり、自然環境の保全及び環境負荷の軽減を目的として以下のとおり自然環境の保護を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ持ち帰り運動の推進 ・ 植物や樹木の保全、回復 ・ トイレ環境の美化 ・ 自然環境に触れ合う場の提供
-----------------	---

5 環境保全の取組目標と具体的な取組

管理事務所の事業活動を実施するに当たって、4に掲げる「①災害防止事業」と「②河川環境事業」についての取組目標を設定し、これを達成する。

5-1 災害防止活動に関する取組

目標：地球温暖化などの原因によりゲリラ降雨が全国で発生しており、当ダム上流にも発生する可能性があります。

洪水等による災害を防ぐことが劇的な環境変化を未然に防ぐこととなることから、降雨状況等の情報を早期に収集し、的確なダム管理に当たります。

- 取組：
- ・ 気象情報の収集
 - ・ 関係機関等への連絡・調整
 - ・ 放流情報の関係機関等への提供
 - ・ 放流前の下流域の安全確認
 - ・ 洪水対応への事前訓練
 - ・ 適正なダム操作

5-2 河川環境活動に関する取組

目標：広く県民に大聖寺川の自然のすばらしさやダムについての関心と理解を深めてもらい、水道水及びかんがい用水として貯水の利用やクリーンエネルギーである水力発電への利用、また、下流域への河川環境の維持に努めています。

具体的には

- ・ 必要な水を確保するための貯水管理
- ・ 貯留水等の水質管理
- ・ ダム湖および周辺の自然に親しんでもらう。
- ・ ダム施設への見学会の開催
 - 周辺の学校の遠足や県政バスの受け入れ
 - 「森と湖に親しむ旬間」行事における啓蒙

- 取組：・貯水管理はダムにおける重要な管理項目であり、洪水時や渇水時などにおいて十分な対応ができるように行っています。ダムからの常時放流により下流域の河川環境の維持に努めるとともに、発電用水や水道・かんがい用水の確保を行います。
- ・ダム施設及び周辺の公園や広場の維持管理に努め自然に親しんでもらいます。
 - ・見学会の開催については九谷ダムには展示室があります。
展示室には各種説明資料があり、職員が展示物の説明を行います。
 - ・「森と湖に親しむ旬間」行事日には九谷ダム展示室を一般公開し、河川やダムについての説明を行い啓蒙に努めます。

6 環境行動計画の実施体制

3に掲げる「環境負荷低減の取組」を推進するために、所長を環境管理責任者として、全職員8名が「具体的な取り組み」を実行します。